

2018年秋、新病棟がオープンします！



完成予想図

当院は、歴史と伝統のある病院ではありますが、病棟は築40年以上と老朽化しております。そこで今、2018年秋の新病棟完成に向けて、準備が始まっています。村山医療センターは大きな改革を迎えようとしています。新しい環境で、私たちと一緒にここで始めてみませんか？皆さんと一緒に働けることを、心から楽しみにしています。

新病棟で
一緒にスタート
しましょう！

施設説明見学会
インターンシップで
お会いしましょう！



独立行政法人 国立病院機構
村山医療センター

〒208-0011 東京都武蔵村山市学園 2-37-1
TEL 042-561-1221(代) <http://www.murayama-hosp.jp/>

murayama

yaama

medical

center



独立行政法人 国立病院機構
村山医療センター

Welcome to Murayama Medical Center!



看護師としての
第一歩を私たちと
一緒にはじめませんか?



村山医療センターに
ようこそ!

私たちが
ご案内します!



チーム医療による 「地域包括ケア」を実践します

当センターには、地域包括ケア病棟があります。急性期治療を経過した患者さんとそのご家族が、不安なく自宅へ帰ることができるように看護師が中心となって、医師・理学療法士・作業療法士・言語療法士・地域のケアマネージャーなどと連携を図り、在宅復帰サポートを行います。スムーズで安心な退院調整を行う看護の力が身につきます。

あなたの個性を尊重して 豊かな人間性を育みます

個々の能力に合わせて、段階的に専門的な知識や看護実践能力を身につけていける教育プログラムがあり、プリセプターや教育担当者を中心として丁寧に指導・サポートしています。働きやすい環境で、じっくり患者さんとかかわる看護を通してあたたかく優しい心をはぐくみ、看護師としてしっかり成長することができます。

村山医療センターは、一般病院では対応が困難である脊髄損傷及び骨・運動器疾患に関する高度な医療の提供から、早期の社会復帰を目指したリハビリテーションに至るまでの一貫した医療を行っている病院です。また、患者さんやご家族の方が安心して地域や自宅に戻れるような環境調整を、地域と連携して行っています。このような医療が提供できるのは、スタッフ一人ひとりがプロであることをしっかり自覚し、患者さんに向

き合っているからです。看護部ではプロとしての自覚、専門性の高い知識・技術、優しさを持った看護師の育成を目指しており、充実した教育体制を整えています。周術期から回復期、そして退院支援と、いろいろな場面で看護の力を発揮できる村山医療センターで、多職種スタッフとともにチーム医療を行ってみませんか。

看護部長 佐藤 千春



●病院概要

開設年月	1941(昭和16)年10月
病床数	303床
職員数	315名
診療科目	内科、神経内科、外科、整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科、歯科、麻酔科
専門外来	側弯症、内科リウマチ、骨粗しょう症、禁煙外来
その他	東京都地域リハビリテーション支援センター、東京都高次脳機能障害支援普及事業所

●看護部概要

看護職員数	183名
看護方式	固定チームナースィング
看護配置	10:1(一般)
勤務体制	二交替(一部、三交替併用)

●理念

患者さんの視点に立ち、良質で高度な医療を提供します。

●看護部理念

私たちは国立病院機構村山医療センターの理念に則り、専門性を発揮した看護を提供します。

●看護部基本方針

- ・私たちは、患者さんの信条、人格、生活、権利を尊重し、意志決定への支援および自立への支援を行います。
- ・私たちは、患者さんに満足される安全で安心な看護を提供します。
- ・私たちは、豊かな人間性と高度な専門的知識・技術を持ち的確に判断し実践できる看護職員を育成します。
- ・私たちは、チーム医療の一員として他部門と協働し病院運営に積極的に参画します。
- ・私たちは、看護活動をおとして地域に貢献します。

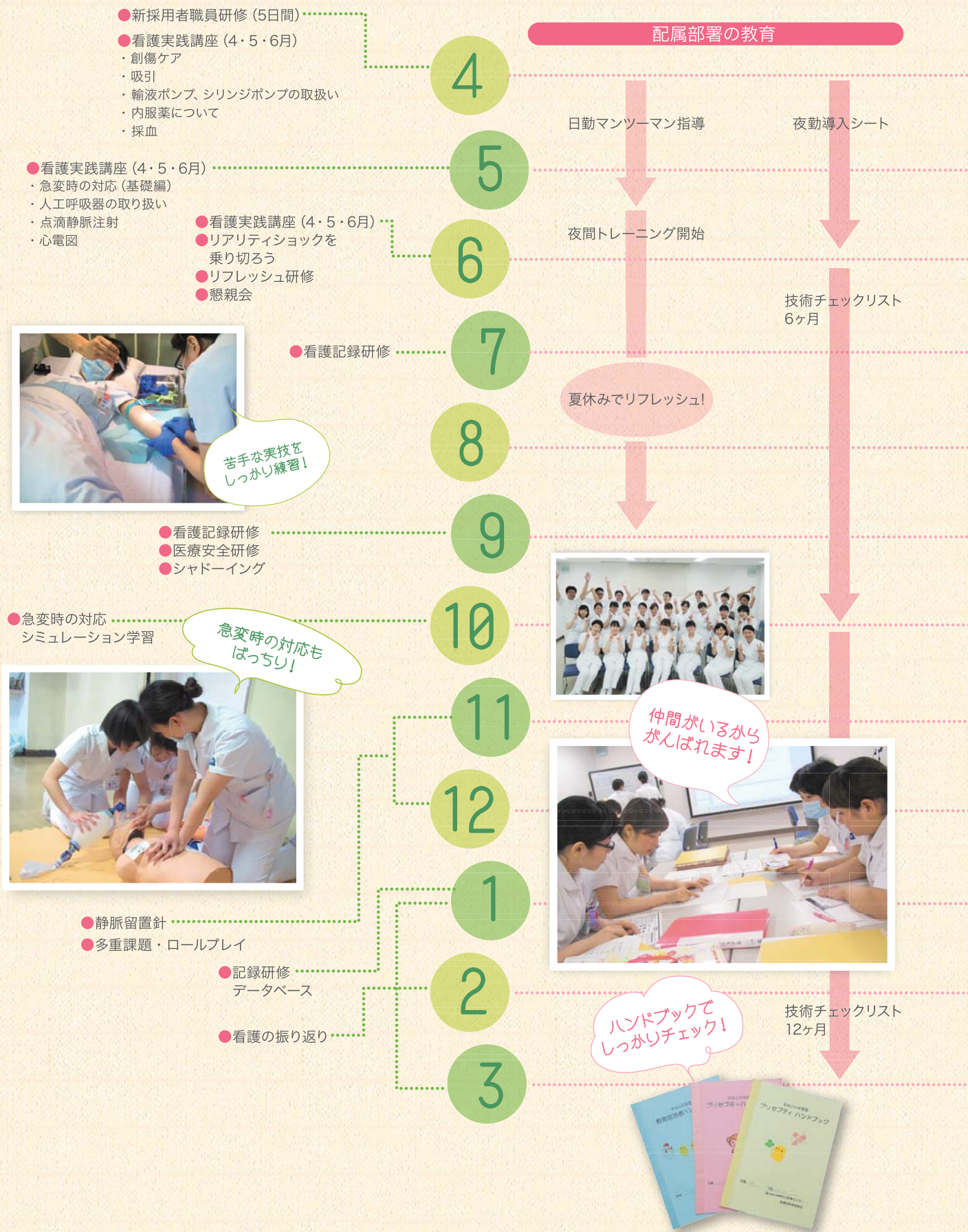
新人看護師の年間スケジュール

あせらず
じっくり
がんばって!



集合教育

配属部署の教育



苦手な実技を
しっかり練習!

急変時の対応も
ばっちり!

新人看護師をサポートする人たち



教育担当者より



プリセプター木藤さんは、プリセプティ渡部さんの業務状況をいつも気にかけていて、体験談を交えながらアドバイスしています。渡部さんは、木藤さんのことを信頼しているのので、色々と相談しながら丁寧な患者さんのケアを行っています。

教育担当者
6病棟(回復期リハビリテーション病棟)
竹谷 小百合

プリセプティ&プリセプター

慣れない環境に不安でいっぱいだった時、いつも木藤さんが「大丈夫?」と優しく声をかけてくれました。できたことは褒めてくれるので、もっと頑張っていこう!と思うことができます。

プリセプティ
2017年入職 6病棟(回復期リハビリテーション病棟)
渡部 志穂



木藤さんへ
やさしくて、物腰が柔らかい木藤さんは、憧れの先輩なんです!



渡部さんへ
仕事以外も相談に乗るよ!一緒に成長していきたいよう頑張ろうね!

いつも患者さんに笑顔で優しく、頑張り屋の渡部さん。いろんなことを学ぼうとする姿勢は頼もしいです。ケアや患者さんと楽しそうに話している姿を見て、これからの成長が楽しみです。

プリセプター
2014年入職 6病棟(回復期リハビリテーション病棟)
木藤 江美

新人看護師の1日



日勤



2017年入職 2病棟 (整形外科病棟)
鍋田 真衣



今日も1日、笑顔でがんばります!

日勤ナースへ引き継ぎ
08:30



あせらず、ゆっくりいきましょうね

リハビリ室で歩行補助
10:00



セキュリティはばっちり☆安心です!

病院敷地内に寮があります



インテリアはグリーンを基調にしています!



患者さんをしっかり観察します

術後のケア
15:00

夜勤

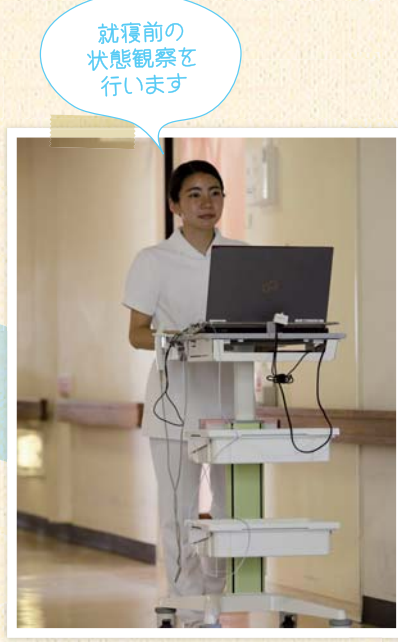


2017年入職 4病棟 (整形外科病棟)
紫中 春香



状況をしっかり把握します

夜勤ナースへ引き継ぎ
16:30



就寝前の状態観察を行います

巡視
20:00



おはようございます! 歯磨きのお手伝いをします

モーニングケア
07:00



和服に着替え 京都の抹茶は最高です



さかなたちに癒され 明日からもがんばるぞー!

クリニカルラダー

国立病院機構で構築したACTyナースに加え、看護師経験年数に応じた『クリニカルラダー』システムを導入し、あなたの力を伸ばします。

看護師は一生勉強！
あなたのキャリアアップを支えます！



管理職		幹部看護師等管理研修 副看護師長研修							
認定看護師・専任看護師		認定看護師 養成研修							
V 院内全体に影響を及ぼしながら看護の質の向上が図れる	レベルV	実習指導者講習会 幹部看護師任用候補者選考							
IV 看護部全体に影響を及ぼしながらスタッフに指導を行い、役割モデルとなる	レベルIV	臨床指導者 指導的役割 エキスパートコース (院内認定コース)	専門分野	看護論理	看護研究	看護記録	リスク・感染		
III 部署内でリーダーシップを發揮しながら看護実践を行える	レベルIII	コミュニケーション技法 リーダーシップ							
II 部署内で自立して看護実践を行える (一人前レベル)	レベルII	メンバーシップと 看護実践							
I 助言や指導を受けながら看護実践を行える (新人レベル)	レベルI	基礎看護技術 リアリティーショックへの対応 急変時の対応 多重課題							
レベル別到達目標	ACTyナース	研修内容							



チームの一員として
看護力を発揮！

チーム医療

医療安全対策チーム
安全・安楽な医療提供のために、医療安全管理室を中心に専任の医療安全管理係長（看護師長）が、教育や研修、委員会など幅広く活動しています。

栄養サポートチーム (NST)
医師、看護師、薬剤師、管理栄養士など多くの職種がチームの一員として連携して、入院患者さんに最適な栄養療法を提供しています。

感染防止対策チーム
院内感染防止対策委員会を中心に、院内の感染予防に取り組んでいます。現場における感染対策状況の確認・指導や教育・研修などの活動も行っています。



褥瘡対策チーム
院内褥瘡発生の予防を目的に活動を行っています。定期的に勉強会を開催したり、多職種チームで週1回、褥瘡のある患者さんの回診を行っています。

地域医療連携室
他の医療機関や福祉施設と連携を取りながら、患者さんご家族のニーズに応え、経済的・心理的な問題にも一緒に向き合い、支えています。

スペシャリスト

多くの
スペシャリストが
活躍しています！



皮膚・排泄ケア認定看護師 1名



看護部長室付/副看護師長
佐々木 由美子

骨・運動器に特有の障害をもつ日常生活援助が必要な患者さんに対して、チーム医療を行う上で、看護の果たす役割はとても大きなものです。臨床で経験を重ねていく中で「患者さんのために知識・技術を磨かなくては」という思いを持つようになりました。皮膚の傷を治し、排泄のトラブルを解決できる私たちの専門的スキルは、目に見えて効果が得られ、患者さんの生活の質向上に大きく影響します。当センターは、良質な医療を提供するために「どのようにキャリアを積み、どんな看護師になりたいか？」自分に問いながら活動できる環境です。

感染管理認定看護師 2名



左 3病棟（外科・内科・整形外科）/副看護師長
杉山 誠



右 7病棟（脊髄損傷病棟）
佐々木 恭兵

患者さんとそのご家族、職員など当院に関わるすべての人々を感染から守ることが使命です。そのため、院内ラウンドや勉強会、相談対応などを行っています。ICT (Infection Control Team) のメンバーやリンクナースなど、他部署・他職種との力も必要不可欠で、その調整役としての役割も担っています。職員一人ひとりが感染に対する意識を高められるよう、他のスタッフの協力を得ながら具体的な対策を立てています。スタッフの取り組みが医療関連感染の低減につながるような指導を心がけています。

院内認定看護師（褥瘡対策） 31名



左 3病棟 (HCU)
佐藤 ひとみ



右 手術室
宮田 佳奈

脊椎疾患の術後のケアはベッド上での安静や、頸椎、腰椎の安静のためコルセットを使用することが多く、褥瘡のリスクが高いです。そのため、全身の皮膚の観察をしっかりと行い、補助具を使用するなどして、患者さんに合ったケアを提供できるように活動しています。私たちだけでは判断が困難な症例は、皮膚・排泄ケア認定看護師に相談したり、皆でカンファレンスをして一緒にケア方法を考えたりしています。患者さんの本来の治療の妨げにならないように、他職種との情報共有も大切にして、日々活動しています。

院内認定看護師（脊髄損傷看護） 5名



左 7病棟（障害者病棟）/副看護師長
溝口 麻里



右 8病棟（脊髄損傷病棟）
森田 和隆

脊髄損傷の部位によって、患者さんの症状は様々で、またその方の家族背景や自宅環境もそれぞれ異なります。1人として同じケースはありません。患者さんとじっくり接し、1つでも多く日常生活動作を再獲得できるよう関わり、自宅へ帰れるようサポートしています。そのためには、多職種間で情報共有して、連携を図っていくことが重要です。提供した看護が患者さんのその後のQOLを大きく左右しますので、少しでもADLが拡大できて退院目標に到達できた時には、大きな達成感と喜びを感じることができます。

あなたのやりたい
看護はきっと
ここにありませう!

わたしたちの看護



回復期リハビリテーション看護

患者さんとご家族の
一番近くで
しっかり向き合えます



2014年入職
6病棟(回復期リハビリテーション病棟)
清岡 愛

***** 看護の特徴 *****

自宅退院に向けて最長で6か月という入院期間の中で、患者さんやご家族と向き合い「今、何が必要か」「どうすればいいか」を一緒に考え、サポートすることはとてもやりがいがあります。他職種と密に関わりながら、退院後の生活を見据えケアを行っていくことにリハビリ看護を行っているな、と実感しています。

***** うれしい!と思うこと *****

長い入院生活の中、毎日リハビリテーションを頑張る患者さんの姿を一番近くで見て、一緒に悩んだり、笑ったり、患者さんやご家族と深く関わりながら、最初は介助が必要だったことが、どんどん自分でできるようになり、笑顔で退院していく姿を見ることは、何度経験してもうれしく感じます。



整形外科看護



***** 看護の特徴 *****

私が働く病棟は外科、内科、整形外科の混合病棟なので、様々な疾患の患者さんが入院されます。そのため、幅広い知識や技術が必要とされるので、それらを身につけていくことに、やりがいや成長を感じることができます。病棟のスタッフは皆さん明るく、とても働きやすい環境です。

***** うれしい!と思うこと *****

歩けなかったり、自分でご飯が食べられなかった患者さんが、リハビリや看護師たちの関わりでどんどん自分でできることが多くなっていくのを見るのがとてもうれしいです。人工呼吸器から離脱して初めて声を聴ける瞬間は、とても感動します。



2013年入職
3病棟(外科・内科・整形外科)
清水 紗也

患者さんが
よくなっていく姿を
見るのは
うれしいです

患者さん
と他職種と
皆で一緒に
考えて
サポート
します



2006年入職
7病棟(障害者病棟) / 副看護師長
溝口 麻里

***** 看護の特徴 *****

障害者病棟では、脊髄損傷の患者さんが多く入院されています。日々の看護では、病態生理を理解した援助、そして退院後の生活を考慮した専門的指導が必要とされます。例えば入浴動作では、PT、OTそして患者さんと一緒に考えて、患者さんの持つ力を使って安全に自立できるように、関わっています。

***** うれしい!と思うこと *****

退院した患者さんが外来受診などの際、会いに来て近況報告をしてくれることです。患者さんにとって入院期間は人生のほんの一部であり、その後も色々な人生を歩んでいると感じます。入院中とは違う明るい表情で来られる方も多く、前向きな姿にいつも元気をいただいています。



地域包括ケア

患者さんやご家族の
不安の中身を
傾聴することが
大切です



***** 看護の特徴 *****

地域の急性期の状態から脱した患者さん、自宅療養をしている患者さんの受け入れを行い、安心して自宅に退院できるように支援しています。患者さんが安心して退院するために自宅へ退院前訪問を行い、患者さんやご家族の望む生活について理解を深め、他職種と連携しながら環境調整を図っています。

***** うれしい!と思うこと *****

退院調整を行う中で、患者さん・ご家族から自宅に戻ることの不安を訴える場面が多くあります。その不安の中身をよく傾聴し、不安軽減できるような介護サービスの検討・導入を行います。退院前訪問後に患者さん・ご家族から「家に来てもらって、実際を見てもらうことや、いろいろな相談ができて安心して退院できます。」とおっしゃっていた時は、うれしかったです。



9病棟(地域包括ケア病棟) /
看護師長
関根 千晴

EVENTS

院内外で様々な
活動をしています!

とっても
盛り上がるし
楽しいですよ!



看護の日フェスティバル

「イオンモールむさし村山」で開催しました地域住民の方との交流の場です

クリスマスコンサート

ルーテル学院大学の学生さんが聖歌隊として病棟をまわります



出張講座

近隣の企業・団体・個人向けに出張講座を行い、地域貢献しています。講義やデモンストレーションなどわかりやすい内容です